

情報公開用文書 (附属病院で実施する医学系研究)

(単施設研究用)

西暦 2021 年 5 月 27 日作成 第 1.0 版

研究課題名	NAFLD 疾患における肝細胞癌発癌予測における血中 AIM の有用性の評価：単施設後ろ向き観察研究
研究の対象	2000 年 4 月 1 日～2021 年 2 月 28 日までに横浜市立大学附属病院で肝細胞癌が発症した非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) 患者さん
研究目的 ・方法	<p>研究目的</p> <p>肝細胞癌の早期発見・早期治療は肝細胞癌患者の生命予後を改善するとされております。近年肝炎ウイルス感染のない症例からの肝細胞癌の発生が 1/3 に達しており、その要因として肥満、生活習慣病に伴う非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) が関与していることが推定されています。国内に約 2,000 万人以上存在する NAFLD 患者さんの肝細胞癌発生を早期に診断するための腫瘍マーカーの重要性が注目されています。日本においては肝細胞癌の腫瘍マーカーとして α-Fetoprotein (AFP) ・ AFP のレクチン分画 (AFP-L3) ・ PIVKA-II が保険認可されています。近年マクロファージが分泌する apoptosis inhibitor of macrophage (AIM) が血液中で活性化された血中 AIM (IgM-free AIM, IgM-bound AIM) の値が新たな腫瘍マーカーの可能性があることが報告されました。本研究では血中 AIM が腫瘍マーカーとしてだけでなく発癌予測に有用であるかを検討いたします。</p> <p>研究方法</p> <p>日常診療で得られた情報 (年齢、性別、身長、体重、血液検査結果) 肝生検の組織情報を用い、日常診療の血液検査で採取した際の残余血清を用いて血中 AIM 値を測定いたします。</p>
研究期間	倫理委員会承認日～ 西暦 2025 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	<p>以下の情報を、診療録から収集します。</p> <p>患者基本情報 (肝生検施行日 \pm 3 日) : 年齢、性別、身長、体重、腹囲、病歴、合併症 血液検査 : AST、ALT、γ-GTP、PLT (血小板数)、T-Cho (総コレステロール)、TG (中性脂肪)、FPG (空腹時血糖)、IV 型コラーゲン 7S、フェリチン、ヒアルロン酸</p> <p>画像診断、肝生検組織診断結果 腫瘍マーカー : AFP、PIVKA-II</p> <p>本研究で、以下の項目を測定します。 測定 : IgM-free AIM / total AIM</p> <p>研究に用いる試料</p>

情報公開用文書(附属病院で実施する医学系研究)

(単施設研究用)

	残血清 300 μ L
外部への 試料・情報の 提供	血清は測定のため積水メディカル株式会社へ送付し測定を行います。情報の提供は、 行いません。
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方に ご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その 場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 肝胆膵消化器病科 米田 正人 電話番号：045 - 787 - 2800 (代表) FAX：045 - 784 - 3546</p>	